

2024年 社会福祉法人 めやす箱
法人事業計画

1. 法人理念

○利用者主体のニーズの追求

利用者支援において利用者・ご家族に常に寄り添い、受容傾聴の態度で支援にのぞむ。
また、主訴はどこにあるのかを検討し利用者・ご家族の希望・要望に沿った支援・サービスに取り組む。

○ナンバーワンの福祉サービスを目指す

利用者・ご家族が、めやす箱の提供するサービスに対して常に高い満足度を感じてもら
う為、サービスの質の向上に努める。ナンバーワンの福祉サービスについては、日々の
利用者・ご家族との対話や法人満足調査の結果等様々な観点から検討する。
ナンバーワンの福祉サービスを決めるのは、当事者の評価である事を意識し、選ばれる
立場である事を忘れず、サービスの向上に取り組む。

○職員が働きやすい環境作り

ワークライフバランスの充実やメンタルヘルスケア等、仕事をする上で心身の基盤が安
定しなければ、質の高いサービスの提供は行えず人材定着にも繋がらない。
職場内の人間関係や労務管理など安心して働ける職場環境の整備に取り組み、働きやす
い環境を作り努めていく。

2. 事業方針

法人理念の基、利用者の人権を尊重し尊厳を侵すことのないように日々努める。

常に利用者・ご家族の希望・要望に耳を傾け真摯に対応し、利用者の自立に向けた良
質なサービスを提供する。

利用者の権利擁護・虐待防止に向けた研修を行い、職員の倫理観や道德観の向上に取
り組み、権利侵害や虐待のない環境作りを行う。

人材育成・人材確保・人材定着に積極的に取り組み、離職の減少・定着化を図る事で
業務の効率化に取り組んでいく。また、事業の長期安定的且つ継続化を図る為、事業の
安定収支に向け事業計画を策定し、安定収益を確保しつつ安定・健全経営を目指す。

社会福祉法人として、地域住民への還元・地域資源の構築・社会的弱者の救済等、社
会問題に対し法人全体で積極的に取り組む。

3. 2024年重点目標について

①利用者の自己決定・自己実現を尊重し、尊厳を侵すことのないよう利用者主体の支援
に取り組む。

②人材の確保・育成・定着を行い、業務の効率化に取り組む。

- ③働きやすい職場環境を作り、人材育成に積極的に取り組む。
- ④事業の安定化や収益確保に努め、継続性を持った事業運営を行う。
- ⑤社会福祉法人の責務において、社会課題に取り組む。

4. 2024年重点目標における具体的取り組み

- ①利用者の自己決定・自己実現を尊重し、尊厳を侵すことのないよう利用者主体の支援に取り組む。
 - ・利用者の権利擁護・自己実現を尊重した支援が行えるよう、法人虐待防止委員会を中心に研修・勉強会を実施し学びを深め、利用者主体の支援に取り組む。
 - ・権利擁護の推進を図る為、法人虐待防止マニュアルの周知徹底を行い障害者虐待や差別の起こらない環境を作る。
 - ・利用者・ご家族等の意見・要望を直に聞く機会を定期的に設け、意見・要望ニーズに沿った支援に取り組む。
 - ・サービス満足度調査を実施し、利用者・ご家族の意見・要望を聴き取り反映させる事で支援の質の向上に努める。
 - ・サービス満足度調査における意見・要望に対し法人全体で検討を行い、法人事業計画や部門事業計画に反映し継続的に取り組む。
 - ・障害特性の理解ストレングスに着目した支援が効果的に行えるよう積極的に取り組む。
- ②人材の確保・育成・定着を行い、業務の効率化に取り組む。
 - ・ホームページの刷新、パンフレット等での採用広告や各種説明会等に積極的に参加し、幅広い層の人材を募り、良質な人材の確保に繋げる。
 - ・人材育成において、法人の理念や事業方針を明確化し、研修の機会を確保し、必要なスキル・意識を習得できる研修計画に取り組む。
 - ・人材育成や定着において、人事考課制度を強化し、業務成果・自己研鑽に対し根拠を持って適正に評価しキャリア構築に繋げていく。
 - ・人材定着において、有資格者への手当や階層・能力に応じた賃金体系の構築等、キャリアパスの仕組みの確立により、安定且つ継続的に働ける職場づくりを進める。
 - ・階層に応じた人材育成計画・業務マニュアルを活用し、上位者が的確に育成し業務効率化に繋げる。
- ③働きやすい職場環境を作り、人材育成に積極的に取り組む。
 - ・法人研修では、新人層から中堅層・管理層に至るまで法人の求める職員像を理解し、階層・役職に必要なスキルの向上を目指し、重層的な人材育成に取り組む。
 - ・法人理念に掲げる「職員が働きやすい環境作り」において、明確なキャリアアップやキャリアデザインが描けるよう育成体制を整え、魅力的な職場作りに取り組む。

- ・人材育成・人材定着について、エルダー制度においてOJT・OFFJT等を実施、手厚いサポート体制を実施する。
- ・労働災害（メンタルヘルス等）やハラスメント防止策の職場環境、職員間で活発なコミュニケーション環境を持つ職場づくりを行い、「安心して働きやすい職場づくり」に取り組む。

④事業の安定化や収益確保に努め、継続性を持った事業運営を行う。

- ・事業の安定継続性の為、目標収益を常に意識し事業運営に取り組む。また、収益確保の為稼働日数や利用稼働の目標値を設定し、目標達成に向けて取り組む。
- ・利用定員遵守に基づいて安心して安定的な事業運営を行い、利用者支援の質の向上に取り組む。
- ・新規事業展開を積極的に盛り込んだ、中長期計画を策定し法人全体の安定した収益の確保に取り組む。
- ・感染症対策の強化において、「感染リスクへの徹底対応」の意識を持ち、感染症への正しい知識・情報を収集し、マニュアルの策定、職員研修、施設整備等を実施する。
- ・事業継続に向けた取り組みの強化として、事業の優先順位・人員体制の確保・事業整備を明確にし法人運営に取り組む。
- ・非常災害対策（計画策定、関係機関との連携体制の確保、避難訓練等の実施等）を構築し、有事に備え安全な対応ができるよう取り組む。
- ・不審者対策や侵入者対策にも積極的に取り組み、利用者の安全確保に努める。また、法人防犯規程の周知徹底を行い有事に対応できる準備を整える。

⑤社会福祉法人の責務において、社会課題に取り組む。

- ・社会福祉法人の社会的責務として、地域の課題について地域貢献部会を中心に地域住民との連携に取り組む。
- ・社会福祉法人として地域連携を通じた貢献事業の実施に加え、生活困窮者に対する食糧支援に積極的に取り組む。
- ・地域住民・利用者・職員の交流を図り障害に対する理解を深めていく、地域福祉の推進を図る。
- ・社会福祉士・精神保健福祉士現場実習等の学生の受け入れを積極的に行う。